

残暑お見舞い申し上げます



8月定例会はお休みでしたが、沿線の草刈、公衆トイレの定期的清掃、沿線のパトロール等々、見えない所で働いてくださっている会員さんがいます。トイレ清掃を担当してくださっている方からの報告です。

幸い10号台風の影響は軽微でした。

ただ、トイレの中は落ち葉だらけで、そのうえ何か所もの便器が酷く汚されていて、二人でも普段の倍以上の時間がかかりました。当分臭いが鼻に残っていて閉口しました。

ドロドロの便器を何事も無いかの如く掃除をする家内の姿には感心させられます。

「使う人に少しでも気持ちよく使ってもらいたい」と、口癖のように言います。

「『古いから仕方がない。嫌なら使わなければ良い。』そう言ってしまえばそれでおしまい。

私は少しでもできる事をして、古くても精いっぱいきれいにして、喜んでほしい。」との言葉に頭がさがります。

グリーンラインの四季

通行規制も解除されて、グリーンラインは連日賑わっています。ちょっと日常を離れて、大自然の恵みに触れてみませんか？



有志の集い

7月28日(日)の有志の集いには、5人が参加しました。

作業は、後山公園のツツジの剪定、除草剤の散布、遊歩道の草刈、枯木の伐採などをしました。

*8月の有志の集いはおやすみです。

グリーンラインを愛する会の誓い

私達は 地域の環境の保全と活性化の責任は
私達住民にあることを自覚し、
行政・企業・各種団体と協力しながら
その役割を果たすことを誓います

また、私達は官民協働のモデルケースとして
行政とのより良い関係作りを目指し、
お互いの立場を尊重しつつ お互いに支えあい助け合って
安全で 豊かなふるさと福山を作ることを誓います

～お知らせ～

9月定例会

9月8日(日) 9:00 管理基地集合

定例理事会

9月6日(金) 9:30～ 事務局

**「NPO」は「ボランティア団体」ではありません**

理事長 丸山孝志

最近では少なくなりましたが、一般の方々だけでなく、行政の担当者の中にも「NPOってボランティア団体の事ですね。」とおっしゃる方がいまだにいらっしゃいます。

ここの区別が曖昧なために、NPOが本来の使命を果たしきれていない部分があります。

できるだけ簡単にご説明をします。今後皆様が活動されるときに、参考になれば幸いです。

NPOは行政だけでは受益者（国民・県民・市民など）が求める公共サービスが提供しきれないために生まれました。そのため「新しい公共」等とも呼ばれます。

行政が公共サービスを提供しきれないのは財政の悪化だけが原因ではなく、多様化・高度化するニーズに対応するには、行政よりは小さな組織で、柔軟に、迅速に、そして専門性を持ったサービスを提供できる組織が必要です。その期待を担ってNPOが生まれたのです。

NPOが担うことを期待されている公共サービスは「ほしいことを、ほしい時に、ほしいだけ」提供することを求められています。しかし、NPOはその財政基盤の脆弱さから、活動の多くの部分を「無償またはほとんど無償に近い」形で活動する人たちに依存しています。日本では「ボランティア」といえば「無償奉仕」の事と理解される方が多いのですが、そういう人たちが居なければNPOの活動が困難な現実があります。

ここに大きな矛盾があります。

「ボランティア」には「できる人が」「できることを」「できる時に」という「原則」があります。NPOのメンバーが全てボランティアの場合、NPOに公共サービスの提供を期待する人たちが「今してほしい」と望んでも、動ける人が居なければそのサービスを提供することはできません。その結果「ボランティアなんだけど、今しなきゃいけないのなら無理してでもやろうか。」という人たちの「自己犠牲」に期待するか、「今はできないので、できるようになったらやります。」と開き直るかしかなくなってしまいます。

そうしないためにNPOが目指さなければならないのは「財政基盤を強固にし、専従のスタッフを確保する。」事です。専従のスタッフが専門性や即応体制を担い、時間的に余裕の有る部分や、それほどの専門性を求められない分をボランティアが担うことによって、行政よりも低コストで公共サービスを提供することが可能になります。何でもかんでも職員がやってしまうと、コストは高くなります。ボランティアに担ってもらえる部分はできるだけボランティアに担ってもらおうという事も大切な部分です。

いまの「グリーンラインを愛する会」が目指している方向がまさにこの方向なのです。

もうひとつ「公共サービスの担い手」としてのNPOの活動をする人たちに、ぜひとも忘れないで頂きたい事があります。それは「受益者目線」という事です。私たちの提供する公共サービスを受け取る方の目線です。

話を分かり易くするために「公衆便所の清掃業務」を例に挙げます。

掃除をするのは職員の場合もあれば、有償ボランティアの方、無償ボランティアの方と様々です。ですがそれはトイレの利用者には何の関係もないことです。

「ボランティアなんだからこんなもんだよ」「古いトイレなんだから少しは我慢してくれないと」「嫌なら使わなければ良い」という自己中心的な言い分は通用しません。

「そこまでやれと言われていないし、そこまでやるほど金をもらってはいない。」というこちらの事情も無関係です。

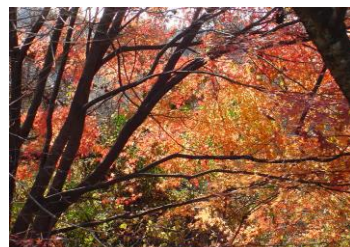
「どうすれば少しでも気持ちよく使ってもらえるだろうか?」「古いなりに気持ちよく使ってもらおう事

はできないだろうか」「いろいろ難しい制約はあるけれど、何か今よりも喜んで使ってもらえるようにできないだろうか」という気持ちを常に持っていただきたいのです。そこから様々な創意工夫や行動が生まれてきます。本会が業務受託するようになって変わった点を列挙します。いずれもが「使う人に良い気持ちで帰ってほしい」という思いから生まれました。

- 1、トイレ掃除中に出入りする方には常に挨拶をしています。
- 2、トイレの各所に「ブラシ」を置き、「後に利用される方のために、ひとこすりの善意をお願いします」という貼り紙をしました。
- 3、祇園町の公衆トイレは既存設備を利用して「春の海」の音楽を流しています。
- 4、球切れしたまま、汚れたままになっていた照明器具を修理し、清掃しました。
- 5、自分たちでできる簡単な修理は、行政に任せず、自分たちでやるようにしました。
- 6、冬場凍結して使用できなかったトイレを、凍結防止工事をしました。
- 7、暗くて陰気だった場所に照明器具を追加しました。

たとえあなたがボランティアの活動をしていても、「NPOのメンバーとして」「NPOの活動をしている」以上、「我々は公共サービスの提供をしているのだ」という事を忘れないで頂きたいのです。NPOが行政と並ぶ公共サービスの担い手として、行政からも住民の方々からも認知され、評価され、信頼されるにはあなた方のそうした意識が必要なのです。

ちょっと長文になりましたが、本会の活動の原点を理解して頂きたいと思います。



「グリーンラインを愛する会」の活動を応援してくださっている 「地域活性化支援企業」

(株)フジイ大理石工業・(有)高木商会・佐藤相互建設(株)・大宮工業(株)・福山電業(株)
 脳神経センター大田記念病院・伸協電機販売(株)・聖和ハウス(株)・美建工業(株)・(株)高森工業
 北斗電機工業(株)・(有)ハイテック・東洋建設(株)・(株)ユキ建設・大成工業(株)
 (株)藤原木工所・光和物産(株)・テラル(株)・(有)アド・アール濱田・(株)ラックス・(有)平木石材店
 (株)松誠園緑地建設・いぐちクリニック・広島県損害保険代理業協会福山支部 (敬称略 順不同)

ご支援ありがとうございます。ご寄付頂きました支援金は有効に且つ大切にに使わせていただきます。



★会員募集★

グリーンラインを愛する会では、一緒に活動をしてくださる方を募集しています。様々な形の活動をしていますので、ご自分にあった分野に参加していただけます。自然のなかで環境を守る作業に、爽やかな汗を流してみませんか？ 楽しい事や嬉しい事にたくさん出会えます。

会費は、年間2400円(一般会員) 入会金は無料です。ご連絡お待ちしております。

[事務局 TEL 084-922-0367



前原]